

# 活動報告（9月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村計画課

表題：浜松市浜名区引佐町で県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました

日時：令和6年9月9、10、11、13日

場所：静岡県浜松市浜名区引佐町

9月9日（月）～11日（水）、13日（金）の4日間、浜松市浜名区引佐町で、静岡県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました。

本演習では、果樹・花き・野菜などの生産に関心を持つ学生が、農山村地域で地域住民や関係機関との交流を通して、地域の現状や課題への理解を深め、地域とともに課題解決方法を考える力の習得を図ります。

対象地域での受入れは3年目で、今年は学生8名、教員、地域の代表者（観光協会・農家）、浜松市（農地整備課・農業水産課）、西部農林事務所農村計画課、株式会社フジヤマが参加しました。

## 【行程概要】

9日	引佐協働センターで、参加者の自己紹介。各関係機関から浜松市の農業・県のソフト事業・白檀の棚田の概要について説明。都田川ダムに移動後、ダムの役割の説明や監査廊の見学を実施。
10日	令和4年度に白檀の棚田と一社一村しずおか運動の協定を結び、UAV（ドローン）撮影による情報発信や草刈り等で地域貢献に取り組む（株）フジヤマからUAVの説明。白檀の棚田でドローンの操作体験を開催。その後、引佐町のイチゴ農家を見学。
11日	引佐町の花木農家と畜産農家を見学。
13日	当所から県営事業、浜松市から多面的機能支払交付金について説明。午後からは、白檀の棚田において、モグラにより穴が開いてしまった箇所を参加者全員で補修。その後、地域資源でもある竜ヶ岩洞の見学。最後に演習の感想を交換。

学生からは、今回の演習を通して農村環境の整備の大変さ、棚田の美しさ、県・市の事業や人と人の繋がりの大切さを知ることができたことと感想をいただきました。

また、演習後も引佐地域と関わっていきたいという感想を持った学生もあり、行政としても関係人口の増加に寄与する重要な機会であることを実感しました。

今後、10月下旬に棚田の稲刈り、2月に関係機関へのヒアリング等を経て、3月10日（月）に同大学で成果報告会が予定されています。

西部農林事務所では、地域の魅力を発信し、農山村地域の地域活性化に向けた取組を推進します。

